

ひまわり 議会だより

No.23

2015.10.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会



宮水小学校大運動会(鼓笛隊)

平成27年度 一般会計補正予算（第2号）	．．．．．	P2
平成27年度 特別会計補正予算（第2号）	．．．．．	P3
条例改正等		
平成26年度決算審査特別委員会委員長報告・監査報告（抜粋）	．．．．．	P4
一般質問	．．．．．	P5～P7
第4回対談集	．．．．．	P8
議会の動き	．．．．．	P9
総務文教・経済建設常任委員会所管事務調査報告	．．．．．	P10

9 月 定 例 議 会

第3回定例会は、9月3日に開会し、所管事務調査報告・報告3件・同意2件・議案10件・認定8件・発議2件・議長発議3件は原案のとおり可決した。
一般質問には3名が登壇し、町長・教育長に質問、9月17に閉会した。

■平成27年度一般会計補正予算(第2号)■

歳入歳出補正 1億1,461万円追加
補正後の総額 50億989万円

今回の補正は、現年発生公共土木施設災害復旧費及び農林水産施設災害復旧費の増に伴う事業費の補正のほか、新規事業として新エネルギー起業・創業支援事業、活動火山周辺地域防災営農対策事業及び県単山村集落防災機能強化事業に伴う補正が主なものです。

歳入の主なもの

地方交付税（普通交付税）	800万円追加
国庫支出金（公共土木施設災害復旧費負担金等）	1,466万円追加
県支出金（活動火山周辺地域防災営農対策事業及び 林業施設災害復旧費補助金等）	4,877万円追加
寄附金（ふるさと応援寄附金等）	373万円追加
繰越金（前年度繰越金）	
町債（災害復旧対策事業債及び 山村集落防災機能強化事業辺地債等）	2,363万円追加

歳出の主なもの

総務費（新エネルギー起業・創業支援事業等）	1,500万円追加
民生費（国民年金人件費等）	△ 100万円減額
衛生費（水道施設整備補助金等）	348万円追加
農林水産業費（活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金 及び山村集落防災機能強化事業費等）	4,374万円追加
土木費（教職員住宅修繕等）	153万円追加
災害復旧費（農林水産施設災害復旧事業等）	4,703万円追加
諸支出金（日之影町ふるさと応援基金積立金）	353万円追加



9月20日高巣野小学校大運動会



9月6日第2回100人会議「ヒノカフェ」グループ会議

平成27年度 特別会計補正予算(第2号)

会 計 名	歳入歳出補正額	補正後の額
国民健康保険事業特別会計 (繰越金及び償還金の確定に伴う補正が主なもの)	2, 957万円	9億769万円
簡易水道事業特別会計 (町債と統合事業費の補正が主なもの)	1, 072万円	2億6, 496万円
農業集落排水事業特別会計 (繰越金の補正が主なもの)	27万円	1, 472万円
介護保険特別会計 (人件費に伴う補正が主なもの)	222万円	6億7, 246万円
後期高齢者医療特別会計 (繰越金の確定に伴う補正が主なもの)	△ 8千円	5, 980万円

条例改正等(4件)

■町内キロ程の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
(職員等の通勤距離の変更)

■日之影町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定
(マイナンバー制度開始)

■日之影町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
(マイナンバー再交付に要する手数料)

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
平成27年度に策定した、辺地に係る公共的施設の総合整備計画を小原辺地、追川辺地、見立・鹿川辺地、大菅辺地、長谷川辺地の5辺地について計画変更するものである。
(防火水槽と農道整備等の追加)

同意(2件)

- ①西臼杵郡公平委員会委員の選任について
後藤桂治氏(五ヶ瀬町)選任に同意
- ②教育委員会委員の任命について
山本唯仁氏(大人)再任に同意

意見書「採択」

■森林整備事業予算の拡充について
林業再生を図るために、

- 1 資源循環型林業の為、森林整備の予算の安定的確保と拡充
- 2 地方・地域にあった林業予算の配分と事業内容の要件緩和
- 3 有害獣による被害対策の強化と予算拡充

■日之影町議会会議規則の一部を改正する規則
議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届けを提出することができる。

平成26年度決算審査特別委員会委員長報告

平成26年度の施策執行については、第4次長期総合計画の終了や、辺地総合計画の策定等で、節目の年であったが、各事業の実績と成果は概ね評価できる。

一方、本町の起債も年々減少し、基金の保有も増えており、規模的には財政運営は安定しているが、起債償還と同時進行で有利な起債事業は言うまでもない。

高齢化が進み、複雑多岐にわたる町民のニーズに的確に対応する為には、更に行政事務事業の見直しや、職員と議会の意識改革も求められる。

また、病院事業については、国の改革プラン等の諸課題が不透明であり、判断材料が不足する中の経営ではあるが、早急に指針を出すべきである。

議員全員で構成する本特別委員会も、26年度決算で13年を経過し、設置当初からみる財政指数も改善されつつある。これは官民一体の努力による

ものであるが、樂觀視する事なく「選択と集中」で、更なる行財政改革と効率的運営を望むものである。

更に、地方創生の論議が、まさに待ったなしで一刻の猶予もない状況である。我々議会も歩を合わせ進むことが肝要であると同時に、諸々の課題解決に向けて施策の具現化が望まれる。

平成26年度一般会計 決算審査監査意見書 (抜粋)

デフレからの脱却が、遅々として進まないなかで、都市部だけで景気の回復が感じ取れる状況で地方では今なお低迷が続いているような気がする。町としても起債のピーク年も終わり、基金の保有高実質公債比率等も少しづつ改善されてきている。

主な指摘事項として(抜粋)

①職員定数条例については、改善を求める。

②納税組合の奨励金は廃止し

てはどうか。

③各団体に於ける補助金・負担金の繰越金については、全体事業費の1割を超える組織団体については減額する事も必要ではないか。

④見積り等複数業者のない、単独企業による契約及び保守料については、その単価背景や根拠等を聞き取りし記載するべきではないか。

平成26年度日之影町 国民保険病院事業会 計決算審査意見書 (抜粋)

関係帳簿、一般事務などは適正に処理されている。

財政状況は、依然厳しい。医業収益・医業外収益とも対前年比では減収となっている。

医業損失を補てんできるのは、今のところ、費用を思い切って削減するか、町の財政補助しかないと考える。

平成26年度決算総括 質疑

総務文教常任委員会

・行財政運営について

投資的経費(普通建設事業費)の減少が大きい、基金とのバランスをどの様に捉えておられるか問う。

・福祉行政(子育て支援について)

「日之影町子育て応援基金」の効果と、予算配分の適正について問う。

・福祉行政(高齢者福祉について)

高齢者の各種生活支援活動の実績と効果を問う。

・病院経営について

諸条件が一段と厳しさを増している。
新公立病院改革プランに沿って重要な課題を問う。

・社会教育について

生涯学習成果と各種スポー

ッ基盤整備の成果と問題点を問う。

・学校教育について

特別教育支援員・ALT英語教育による本町の子供の英語力を含めた基礎学力の位置を問う。

経済建設常任委員会

・森林セラピー事業について

日之影町住民がもっと「森林セラピー基地」を盛り上げていく態勢づくりについて問う。

・新エネルギーの普及について

保健センター・日之影中学校に設置された太陽光パネルの現状と評価について問う。

・農林業振興対策について

拡大造林政策により40年〜50年の伐期を迎えた人工林が多数を占める中、伐採後の再造林、高齢化また後継者不足による未植栽地が増えているが、継続可能な林業経営と課題を問う。

・有害獣対策について

駆除班の活動補助、捕獲員の増員等を推進したが、駆除班の高齢化に伴う減少等問題は深刻化している。

国費が付いたことにより、町の捕獲奨励金の減額をした経緯もあるが町長の見解を問う。

・畜産の振興について

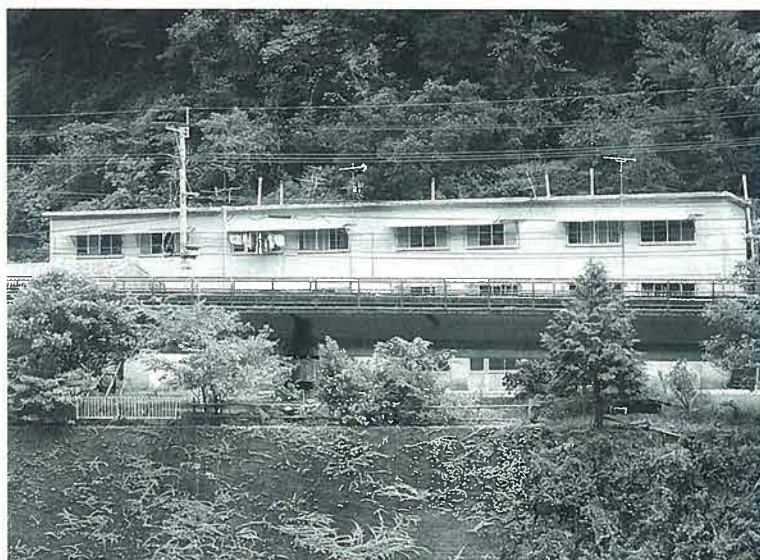
畜産農家の安定経営を目指すため、各種機械の導入、畜舎・堆肥舎等の条件整備を図ってきたが、後継者の育成にどうつながったか問う。



一般質問

「人口減少対策と安心安全なまちづくり」
「既存の町営住宅はどうなる」

飯干 静香



平成26年度 公営住宅修繕整備費91件約894万円

問 町営住宅の維持管理・
住環境整備は。

町長 平成22年度に「公営住宅
等長寿命化計画策定事業」
に取り組み、計画に基づき改善事
業、また現在整備中の花木団地8
戸新設予定の整備事業、コンクリ
ートブロック造長屋団地の用途廃
止を行い、建て替え団地、新規団
地代替えとして位置付け、修繕等
は適時営繕を行ってきた。

問 公的賃貸住宅の建て替
え順位は。

町長 築年数の古いものから取
り組んでいくべきだと考え
ている。

問 人口減少に歯止めをか
けるためには。

町長 町営住宅の維持管理、子
育て世帯・高齢者等の居住
者のニーズに合わせた修繕整備に
努める。

問 定住・移住者対策とし
て、受け皿態勢をどうす
る。

町長 インフラ整備が整った場
所の調査を継続し、宅地造
成・住宅団地の建設を進める。

問 元独身寮の建物どうな
る。

町長 近いうちに取り壊す予定
である。

「商店街はどうなるの」

問 地元・商店街・商店の
衰退を食い止めるには。

町長 空き店舗・後継者不足・
消費者の流れが変わってき
たことなどが要因、地域に必要な
商店を残していくために、その業
を継いでいく「継業」や新規開業
やにぎわい創出のため取り組みが
必要。



中央商店街「メインストリート」

問 どのような支援策を。

町長 店舗の賃借料の助成、開業するための店舗改装に必要な資金補助、店員を雇用するための人件費の助成等、どのような施策・補助網を定めるか検討が必要。

問 買い物に不便を強いられている方について。

町長 「移動店舗・移動販売」、や買い物支援などの研究も進めていく。

問 人口減少を食い止める商店街の対策は。

町長 今後も商工会・商店会との意見交換会を重ねていくなかで対策を検討していく。

「本庁舎はどうする」

一水輝明



昭和31年 当時の新庁舎

問 本庁舎も来年で60年を迎えようとしている。営繕費も増している中で、今後の維持・管理について伺う。

町長 本庁舎は昭和31年1月に1,822万円の事業費で建設。その後玄関入り口の改修、町長室・出納室の新設、二階に大会議室の増設を行うなど、屋根改修・耐震補強等を行った。今後も維持・管理に伴う物件費の抑制を図っていく。

問 安心・安全な町づくりの防災の拠点でもあることから、庁舎建て替えの構想はないか伺う。

町長 現時点での計画はないが、県内でも一番古い庁舎でもあり、先日の台風時では雨漏り等もみられた。

耐用年数等も考慮しながら、今後、検討委員会等を立ち上げ準備をしていく必要があると思う。

「選挙年齢の見直し」

問

公職選挙法等の改正に伴い、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、平成28年6月に施行される。

教育現場との連携と対応について伺う。

町長

来年夏の参議院議員選挙から投票できることになる。本町では、小学校



で、「我が国の政治の働きについて」中学校では「民主主義・国民の生活向上」等「私達の政治」単元で「民主主義と政治参加」という内容で学習している。今後文部科学省から「主権者教育」の指針や指導に関する資料が提示されると考えられるので注意深く見守りながら監督してまいりたい。

問

本町では何人が対象となるのか。

町長

本町では、17歳が42名、18歳が30名合わせて72名の有権者の増となる。

「ふる里納税に係る返礼品の開発について」

甲斐睦彦

問

地方で生まれ育ち、都会で暮らす人は、誰でもふる里へ恩返ししたいと思う人は少なくないと思う。他の自治体では数億円規模の「ふる里納税」の実績があるところもあり、その半額をその自治体の特産品が返礼品になっている。すなわち、そこには経済効果が期待できる。本年度より手続きも簡素化され増加傾向と考える。そこで、返礼品開発に取り組む考えはないか伺う。



ランタンキュラス

町長

規則に基づいて、一回の寄付金が1万円以上あった寄付者に対して約3,000円相当の「本町特産品の詰め合わせセット」を送っている。今後は全国に誇れる「牛肉、柚子、栗、キンカン、花卉類、手作り味噌、焼酎」等の本町の特産品や「栗、柚子、柿」等の人気加工品を中心に返礼品を考え、町ホームページの改修やWEBサイトでの簡単手続きが出来るよう、各課横断的な協力の下に構築したいと考えている。



ダリア



ゆず



くり



しいたけ



きんかん

第4回 議員&対談

肉用牛振興の現状は

【河野學議員&日之影町肉用牛振興会会長 桐木 務氏】

【河野議員】

現在の飼育頭数は？

【桐木会長】

現在、成牛4頭・子牛3頭飼育しています。

【河野議員】

口蹄疫終息後5年が経ちました。宮崎県の畜産農家は大打撃を受けると共に32万頭の牛・豚が犠牲になりました。今後は絶対に繰り返してはならない事だと考えますが、これを振り返って

感じる事、そして今後の課題と対策をどう考えられますか？

【桐木会長】

西臼杵では直接的な被害はなかったものの、種牛の処分の為、種付けが出来ず周期が狂ったり、競り市が開かれなかったりと大きな被害を受けています。今後の対策は、自分の牛舎は自分で守り、繰り返さない為にも日頃の予防を怠らない事だと思えます。

【河野議員】

子牛の高値が喜ばしい事です。しかし、郡内の飼育頭数が年々減少している事が心配なのでは。

【桐木会長】

高齢化が進み、牛を続けたいと思っても、体がついていけず、辞めなければいけなくなってしまう人が殆どではないでしょうか。

【河野議員】

後継者、すなわち若い人達が畜産に対して魅力を持つてもらうには、どうしたら良いと考えますか。

【桐木会長】

色々な経営方法があると思いますが、牛に関しては災害や天候に左右されることなく経営が出来ると思えます。しっかりとした計画を立てれば安定した収入があると思います。人に言われてどうこうではなく、自

分でやる気を起こし努力する事じゃないでしょうか。

【河野議員】

最後に、『日之影町の畜産振興』について行政に対しての意見をお聞かせ下さい。

【桐木会長】

子牛の高値は続いています。導入となると大変なものがあります。町としても、それぞれあると思いますが、少しでも多くの補助金をお願いしたいところです。

今月、10月27日に児湯地域家畜市場で開催される「第59回宮崎県畜産共進会」肉用種牛の部第1類の西臼杵郡代表牛に東宮水の松本功さんの所有する「ひろみ号」が出場します。

昨年に引き続き団体優勝を目指します。皆さんの応援を宜しくお願いします。

議会のうごき

(平成27年7月～平成27年10月)

7月13日(月)	西臼杵林業振興協議会 総会 (高千穂)	3日(月)	九州中央自動車道建設 促進沿線議会協議会総 会・決起大会 (延岡)	4日(金)	中国人殉難者慰霊祭 (緑台)
	鹿被害対策協定調印式 (役場)	4日(火)	県市町村総合事務組合 議会定例会 (宮崎)	7日(月)	第3回定例会本会議 (総括質疑)
	九州中央自動車道建設 促進沿線議会期成会理 事会 (延岡)	5日(水)	県自治会館管理組合議 会定例会 (宮崎)	9日(水)	決算審査特別委員会 協議会
	西臼杵広域営農団地農 道整備事業促進協議会 (高千穂)	6日(木)	大平山トンネル見学会 (末市工区)	11日(金)	決算審査特別委員会 協議会
14日(火)	「ふれ愛ネットワーク」 協定調印式 (研修館)	10日(月)	正副議長研修会・地方 行政問題協議会 (宮崎)	13日(日)	日之影中学校体育大会 第3回定例会本会議 (一般質問)
15日(水)	九州中央自動車道建設 促進協議会総会(延岡)	17日(月)	行政問題協議会 (宮崎)	15日(火)	第3回定例会本会議 (閉会)
21日(火)	行政視察 (熊本県小国町・大分県 竹田市・22日)	20日(木)	戸川岳共有林調査 総会 (高千穂)	17日(木)	第3回定例会本会議 (閉会)
24日(金)	高速道建設促進宮崎県 期成同盟会総会(宮崎)	20日(木)	県森林・林業活性化議 員連盟連絡協議会 (宮崎)	20日(日)	高果野小運動会 協議会
	宮崎県鉄道整備促進期 成同盟会総会 (宮崎)	26日(水)	七折土地改良区要望活動 協議会 (宮崎)	25日(金)	議会報編集委員会・全 員協議会
26日(日)	町消防操法大会 (熊本・阿蘇幹線道路整 備促進期成会通常総会 (大津町))	28日(金)	九州中央自動車道建設 促進地方大会(高千穂)	10月1日(木)	日之影町自衛隊父兄会 定期総会
28日(火)	熊本・阿蘇幹線道路整 備促進期成会通常総会 (大津町)	31日(月)	県道宇納間日之影線整 備促進に関する要望 (宮崎)	4日(日)	日之影小・宮水小・八 戸小運動会
31日(金)	議会運営委員会正副委 員長研修会 (宮崎)	9月1日(火)	県町村議会議長会役員 会 (宮崎)	6日(火)	西臼杵広域行政事務組 合議会定例会(高千穂)
	東九州自動車道建設促 進地方大会 (大分市)	3日(水)	第3回定例会本会議 (開会)	7日(水)	日之影町高齢者スポー ツ大会
8月2日(日)	郡消防操法大会 (八戸いこいの広場)	10日(土)	議会運営委員会・全員 協議会	10日(土)	全員協議会 みやざきの「道づくり を考える女性の会」交 流会 (五ヶ瀬)



8月28日九州中央自動車道建設促進地方大会(高千穂)



7月30日グリーンバイオマスファクトリア宮崎・都農発電所

議会にご案内を
頂きありがとうございました。

- ・大管納涼まつり
- ・夏祭り日之影2015
- ・青雲荘夏まつり
- ・八戸地区夏まつり
- ・八戸清流園・寿久の里
合同夏まつり

- ・各地区敬老祝賀会
- ・八戸清流園・寿久の里
敬老会

- ・青雲荘敬老会
- ・大管地区敬老会
- ・小崎公民館敬老会
- ・八戸上敬老会
- ・深角地区敬老会
- ・椎谷地区敬老会
- ・鹿川ピック
- ・深角団七まつり
- ・大人神社大祭





議会傍聴のご案内

次回の定例会は12月です。

議会に対するご意見・ご要望等お聞かせ下さい。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

♣お問い合わせ

議会事務局

☎ 87-3908

総務文教・経済建設常任委員会所管事務調査報告

【実施期日】 平成27年7月21日～22日

【研修地】 熊本県小国町・大分県竹田市

【研修事項】

再生エネルギー木質バイオマス発電の取り組み
城原井路土地改良区小水力発電施設の取り組み
移住・定住、空き家バンク及び地方創生

小国町『木質バイオマス発電』説明を聞く



竹田市『小水力発電施設』現地説明を聞く



竹田市『空き家バンク』の説明を聞く



編集後記

台風15号は栗を中心に、相当な被害をもたらしましたが、その後朝夕はすっかり涼しくなっていました。

一方国政においては、安保法成立とTPP大筋合意という大きな動きがありました。特にTPPは本町の農畜産業に深刻な影響を及ぼすものと大変危惧しております。今後国の動向を重大な関心を持って、見極めなければなりません。

いよいよ収穫の秋、忙しくなります。お互いに農作業の事故等に十分気をつけて精を出しましょう。

杉本道生

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 飯干静香

副委員長 甲斐睦彦

委員 河野 學

委員 一水輝明